

新設「住宅部会賞 10宅選」

公開選考会 2019年2月20日(水) JIA館建築家クラブ
発表・表彰 2019年3月20日(水)



2019年度住宅部会長
2018年度住宅部会
アワードWG主査
中村高淑

住宅部会では、部会員の相互の交流と研鑽の活性化、および作品の顕彰を目的に、2018年度より「住宅部会賞」を新たに設立いたしました。

住宅部会に所属する建築家を対象に、住宅部会の理念に基づいた住宅作品を募集し、応募のあった34作品から2分間のショートプレゼンを経て、選考委員ならびに会場の部会員による投票によって5作品を選出し、発表・表彰を行いました。

住宅部会の理念

「建築物」は、建築主だけでなく、社会にとっても大切な資産です。住宅部会は、公益社団法人日本建築家協会(JIA)の理念に基づき、市民に最も身近な建築である「住宅」を通して、美しく住みやすい街と持続可能な社会、創造性豊かな住文化の構築に寄与することを目的としています。

●第1回「住宅部会賞2018 10宅選」

10宅選 選出作品

- 「丘水庵(KYŪSUIAN)」 片倉隆幸
- 「母と娘と4人の家」 高安重一
- 「3世帯8人家族の家」 田口知子

渡辺武信賞

- 「路地の家」 関本竜太

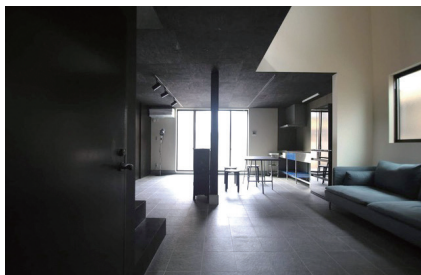
部会長賞

- 「土浦の家」 高木恒英(故人・特別展)

- 選考委員長 : 高橋隆博 2018年度(第39代)住宅部会長
- 特別選考委員: 渡辺武信 第6代住宅部会長、名誉住宅部会員
- 選考委員 : 郡山貞子 第30代住宅部会長



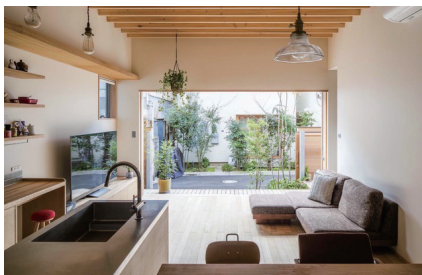
「丘水庵(KYŪSUIAN)」片倉隆幸



「母と娘と4人の家」高安重一



「3世帯8人家族の家」田口知子



「路地の家」関本竜太



「土浦の家」高木恒英

住宅部会について

JIA関東甲信越支部住宅部会は、主に住宅建築の設計・監理を手がける建築家を中心に現在約80名が所属しています。

■住宅部会の活動

- 1) 建築家の知識や能力を活用し、社会に貢献する活動をします。
- 2) 建築家の職能を社会に広める活動をします。
- 3) 会員の資質向上を図り、相互の親睦を深める活動をします。

■活動の基本

公益社団法人日本建築家協会関東甲信越支部の部会であり、会員による自主的で、営利を目的としない活動を行います。

■2019年度活動方針

設立44年を迎える住宅部会の歴史や理念に加え、「持続可能な住まい」や「建築家の職能」といった活動テーマを踏襲しつつ、さらに時代にマッチする多様で柔軟な活動方法や新しい工夫も試験的に取り入れながら、会員相互や社会との交流に重点をおいた活動を継続してまいります。老若男女、既存ベテラン部会員から中堅、若手会員、さらには一般社会にとっても魅力ある部会となるよう、「処士横議の場」として有益な企画や場を提供したいと思います。